

報 告 書 抄 録

ふりがな	しせき のしまじょうあと							
書名	史跡 能島城跡							
副書名	平成22・23年度 郭Ⅲ（第2・3次）調査報告書							
巻次								
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第112集							
編著者名	白石 聡							
編集機関	今治市教育委員会							
所在地	〒794-0028 今治市北宝来町1-1-16							
発行年月日	2012年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
のしまじょうあと 能島城跡	えひめけんいまぼりしみや くぼちょうみやくぼ 窪町宮窪6571、 6572、6573、 6574、6575番地	202		34° 10' 58"	133° 04' 51"	201006 ～ 201112	265㎡	史跡整備 に伴う試 掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
のしまじょうあと 能島城跡	城館跡	中世	礎石建物跡、掘立柱 建物跡、石列、土留 め石列、溝状遺構、 土坑、鍛冶炉、鍛冶 関連遺構、柱穴		土師質土器、瓦質土 器、国産陶磁器、輸入 陶磁器、石製品、鉄製 品、銅製品、鞆羽口、 鉄滓、鍛造剥片等			
要約	<p>郭Ⅲ南東部では、庇を伴う4間×2間の礎石建物跡（SB-1）を検出した。これ以外にも、郭南斜面に土留めの石列（SV-1）、区画のためと考えられる石列（SV-2）、郭上で何らかの構造物の基礎と考えられる石列（SV-3、4）等を検出した。多数の石列基礎を伴う構造物の存在が確認され、他の郭の建物群とは異なった様相を呈している。</p> <p>郭Ⅲ北西部では、約3×2mの方形土坑が2基（SK-4、5）検出された。その性格は不明ながら、底面に粘土を貼り付けた構造を確認した。また、鍛冶炉（SX-5）および鉄の冷却を目的としたと考えられる水溜め遺構（SK-6）などの鍛冶関連の遺構や鞆の羽口、鉄滓等の遺物が検出された。他に3間×2間の掘立柱建物跡が2棟（SB-2、3）重複して検出されている。</p>							